

こひつじ 2組 クラスだより 2月

◎ひかりの子幼稚園の素敵だと思うところを見つけ、発表しました

3学期が始まり、クラスで“ひかりの子幼稚園の素敵なおとこころ”をテーマに思いを寄せる時を持ちました。ただ意見を伝え合うだけでなく、1つひとつの考えに対し「なんでそう思うの？」と問いの根本を言葉に表せるようにと意識して話し合っていました。「考える時間がある⇒いろんなことを学べる」「話し合うことで⇒相手の気持ちがわかる」「遊ぶことで⇒発見がある」「ページェントでイエス様の誕生を伝える⇒沢山の人の世界が変わる」とひかりの子幼稚園が大切にしていることが子どもたちから聞いたことに感動し、3年間の経験の賜物だと感じ、本当に嬉しかったです。倉治小学校の先生の前で話し合った内容を伝えるためには、何もしないと難しいと分かり、新聞を作ってみることにしました。その後幼小連携日の発表会を経て、体育参観でも発表することになったのですが...。お友だちの発表をする姿を見てイメージが持てたり、憧れの気持ちが生まれたりそれぞれ気持ちの変化があったようです。発表する子、新聞を持つ子を交代し、体育参観当時に向けて準備をしました。話し合う中で、出来るようになったことを見てもらいたい気持ちが生まれ、限りある時間で何とか出来る方法を考えました。動画にしたら、動きのある大縄や鉄棒も見てもらえる、動画を見るならホールが良いと経験を元に案を出し合いました。話し合い、新聞づくり、ホールの環境の準備と1つの活動に色んな場面があり、自分の出来ることに意欲的に取り組む子どもたち。1人では気付けない、出来ないかもしれないことにも協力し、試行錯誤し、補い合い過ごせることがクラスの良さだと改めて感じられる機会でした。1人では生きていけないけれど、傍にいる誰かが助けてくれる、神様が見守ってくださっている安心感を日々感じられるよう、残り数日の園生活も大切に過ごしていきますね。見えない根っこ、でも何よりも価値のある根っこ。そんな大切な時期に携わらせていただき、幸せな気持ちになりました。(新聞は職員室前に張り出しますね！)



クラスで取り組んでいること

残り少なくなった園生活、皆で挨拶や感謝の気持ちなどの大切さを確認し合い、言葉に出して伝えられるよう取り組んでいます。

今月の聖句

「わたしは弱いときにこそ強いからです。」

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章10節)

今月の歌

♪ともだちさんか

1.ひとりとひとりが腕組めば たちまち誰でも仲良し
やあやあみなさんこんにちは みんなで握手
空にはおひさま 足元に地球 みんなみんな集まれ
みんなであうたえ

2.ロビン・フッドにトム・ソーヤーみんな僕らの仲間だぞ
おひげをはやしたおじさんも 昔は子ども
★くりかえし

3.世界の友だち集まれば なんにも恐れることはない
ゆくてはアフリカ ポリネシア みどりの森
★くりかえし イチ・ニツ

みんなであうたえ ワン・トゥ みんなであうたえ
アイン・ツバイ みんなであうたえ ウノ・ドス
みんなであうたえ

今月の賛美歌

♪ 主の祈りを

主の祈りを 捧げましょう
イエス様から いただいた
主の祈りを 主の祈りを
主の祈りを 捧げましょう

進学に向けて、期待と不安が混在する2月。姿勢を正して座る、真剣に話を聞くことを意識し頑張る中、反対に少しの出来事でもプンプンした表情を浮かべたり、涙を流したりする姿がある子どもたちです。ある日、子ども同士の会話で「卒園嫌やなあ、もう一回4月からやり直せへんかなあ」という話が聞こえてきました。“卒園”に関する話をすると、「嫌やー幼稚園におりたい!」「寂しいー...」という声が多いように感じます。そんな風に思ってくれるぐらい園が安心できる場所となっていることが嬉しく、心がほっこり😊。しかし、同時に、小学校へ期待できる声掛け、活動が足りないのではという気付きもありました。大人でも新しい環境に踏み出すことは、何より緊張するタイミングですね...。子どもの頃、進級のたびにドキドキ、新しい習い事を始める時のドキドキ、先輩のばかりの応援団の練習に行く時のドキドキなど、様々な時期があったなあと思い出しました...(笑)でもそんな時、近くにいる大人や、友達の助けがあって乗り越えることができました。寄り添うことと同じように、“皆なら大丈夫”“いつまでも味方だよ”と声をかけ、背中を押すことも、経験を積んでいる大人だからこそ出来ることだと考えます。卒園まで、どちらの姿勢も大事に関わっていきたいと思います。お家の皆様も進学に向けて心が落ち着かない時期だとは思いますが、何かできることがあれば、いつでもお声掛け下さいね。



◎マフラーづくり



マフラーと一緒にアルプス一萬弱!

マフラーづくりコーナーを準備。続々と興味を持ち、世界にたった1つのマフラーを作ります。やり方をマスターすれば、何度も繰り返すと出来上がるのですが、根気が必要です。自分のペースを考え、日にちを分けて続けたり、一気に1時間以上取り組み作ったりと様々な姿がありました。「疲れた...」と言いつつも、牛乳パックの下からマフラーが伸びてくると、やる気復活。完成したマフラーは少しスリムですが、子どもたちの心はポカポカ大満足だったようです...♡

◎学校って...?



少しでも進学へのイメージが持てるように倉治小学校の方に協力して頂き学校見学をしました。校内を探検すると、休み時間が終わるチャイムを聞いて、園庭から戻る小学生。チャイムの音で次々と動く姿に「わあ〜帰っていく」と自分たちで行動する様子に子どもたちもびっくりしていました。「椅子が高い」「黒板おっきい」「本がいっぱいある!」と幼稚園との違いも発見。授業の見学でクラスに入った際も、気持ちを乱さない小学生の立派さを感じ、また、2組さんも雰囲気を読み、静かに邪魔にならないように気を付けながら、過ごしてくれていましたよ。体育館では、卒業式の練習の見学。楽器の演奏、歌声、目線どこを切り取っても本当に素敵で、見つめる子どもたちも真剣な表情。最後は各クラス3つずつ質問にも答えて頂きました。刺激がいっぱいの見学会、「ちょっとわかったかも!」と安心に繋がったような姿もありました。

◎豆まきごっこ



色や角の数は一人ひとりのオリジナルで、鬼のお面を作って、個性豊かな、それぞれの良さが溢れた鬼さんが大集合しました。2組の兄弟クラスで豆まきをするため新聞豆も制作。小さな丸形にするには力が必要です。ぎゅっと握り真ん丸の豆が沢山出来上がりました。そして当日。まずは豆を投げるターン。1月の♪鬼はうちでひきうけたの歌詞から「鬼はうち、福はうち?」面白いつぶやきも。(笑)部屋の隅にこそっと隠れて準備する子、「やっつけるリーダー僕がする!」とドアの前で見張る子に分かれ、自然と役割分担。こぼと2組鬼をやっつけ、こひつじ2組も鬼をして...。遊びの中で節分の行事に触れられる機会となりました。子どもたちに沢山の福が訪れますように...!



◎大根抜き



お片付けでも新聞紙の雨を降らせたり、玉入れをしたりして過ごしました。



幼稚園生活最後の作物の収穫は大根でした。大根は揺らすと折れてしまうため、お気に入りの見つけて真上に引っ張ります。色んな野菜を収穫してきましたが、それぞれの野菜に適した収穫方法を教えてもらいます。小ぶりな大根、大きな大根など様々でしたが、自然の恵みだからこそその気付き、学びがあったと思います。

- 子どもたちに聞いた大根のメニュー...
- ・おでん
 - ・大根スープ
 - ・お味噌汁
 - ・大根の生ハム巻き

